

【板挟みな 分かち愛】

～独占欲編～



この学校に
転校して来た
くみきしょうと
組生勝人は

クラスに
馴染めずにいた
そう、僕だ。

やっと放課後か…

ねえ
くみき
組生くん

しかし幸いにも
話せる人はいる

キーン

コーン
コーン

キュッ

今週の
砂鉄の刃
見た？

白金久留御
しろがね くるとみ

隣の席なので
挨拶したらその日から
話しかけてくれる
ようになった女の子だ

あ！
見た見た

善四が
技を出すところが
カッコよかったよ！

僕はすぐ好きに
なっていた

しかし、そんな
気遣いの化身の
ような彼女でも

僕と同じく
ボッチなようで、

他に親しくしている
人を見ていない

私もそこ
好きだった

そういえば

もうすぐ
映画が公開
されるんだっけ？

映画館って嫌だよね

人込み多いと
気になって見れないし
金高いしゴミも多いし
断然家でネットプリ派

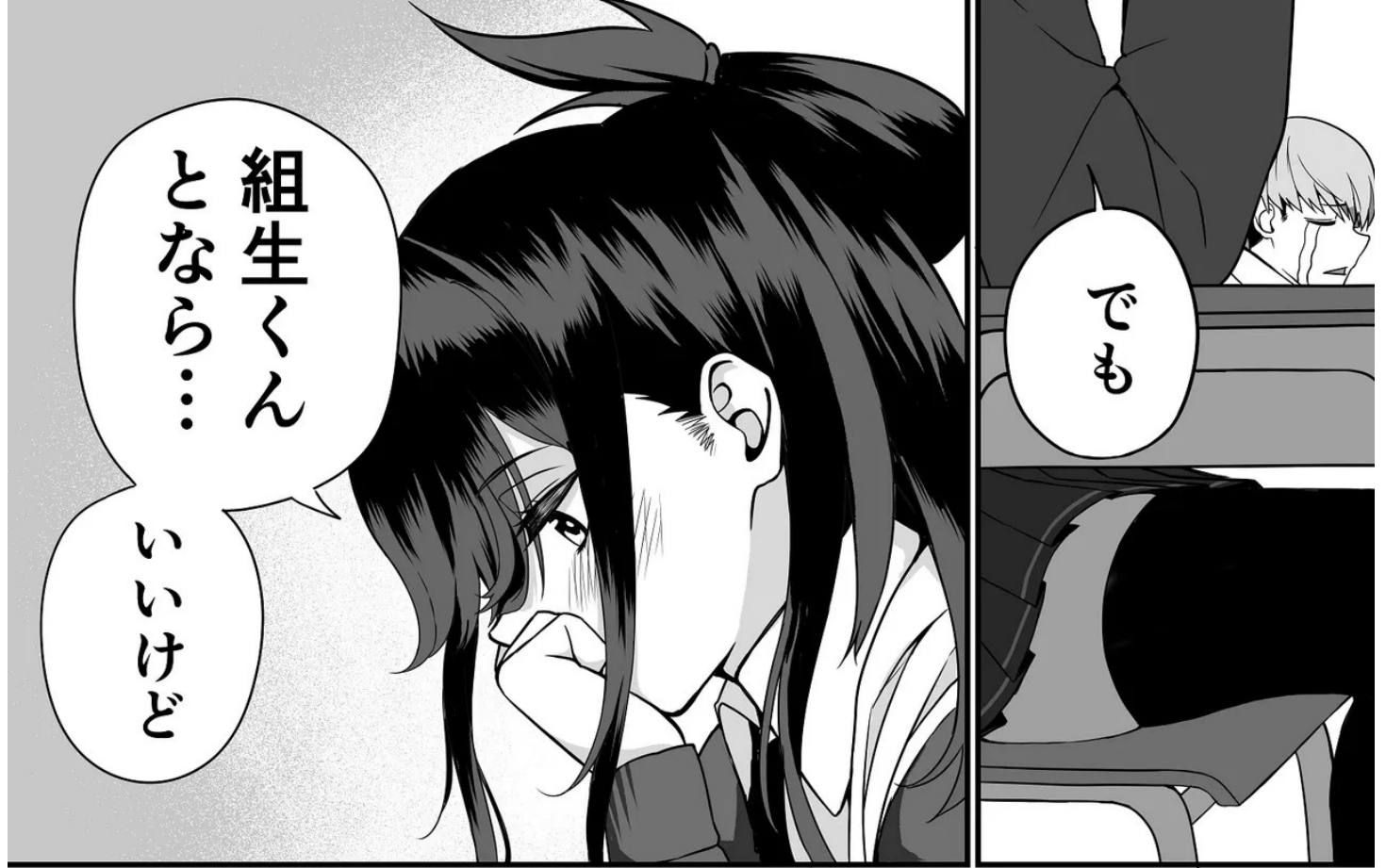
せっかくだから
一緒に映画見にい
く

女子と
仲良くなる
機会なんて
今しかない！

一気に距離を
詰める！！

話は合うけど
かみ合わないん
だよなあ…

ボッチな理由が
見えた瞬間だった





行っちゃった

バシ

ほにゅッ!?

だ〜れだ!?

か...
隠せてないです

豊穰先輩...

たん



組生くんが全然
部室に来ないから
呼びに来たんじゃん

なんで先輩が
一年生の教室に
いるんですか！



放課後になって
まだ3分経って
ないですよ

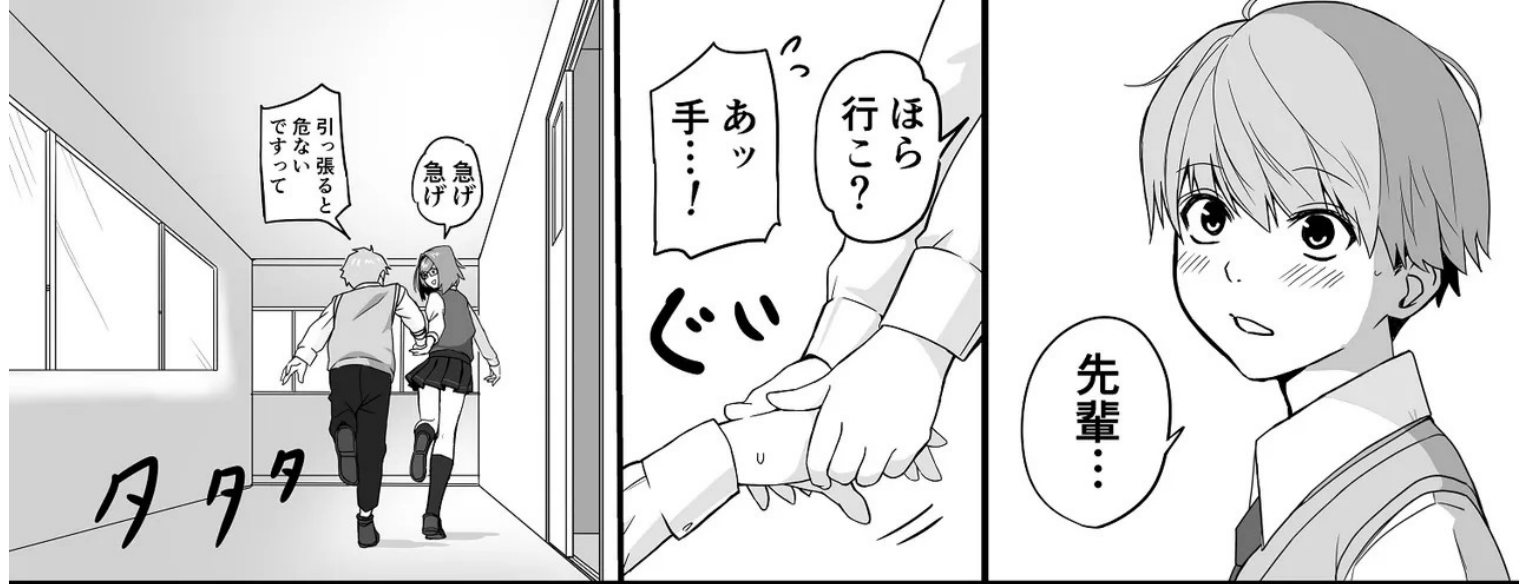
ウチの部は
チャイムから
1分集合なのです

初めて聞き
ましたけど
!?



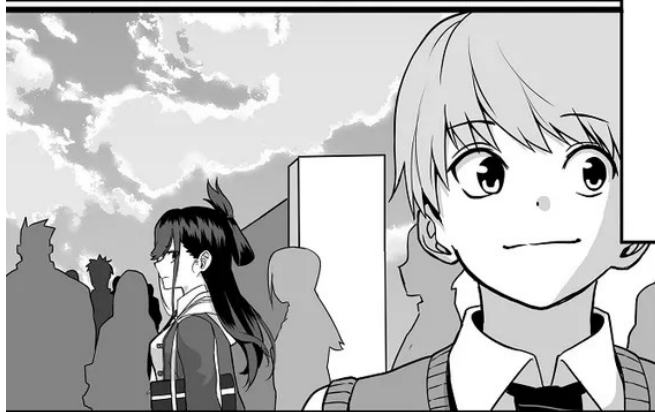
組生くんは廃部寸前
だった文芸部に
入ってくれた恩人だし

だから君との
部活が毎日
楽しみなんだ！

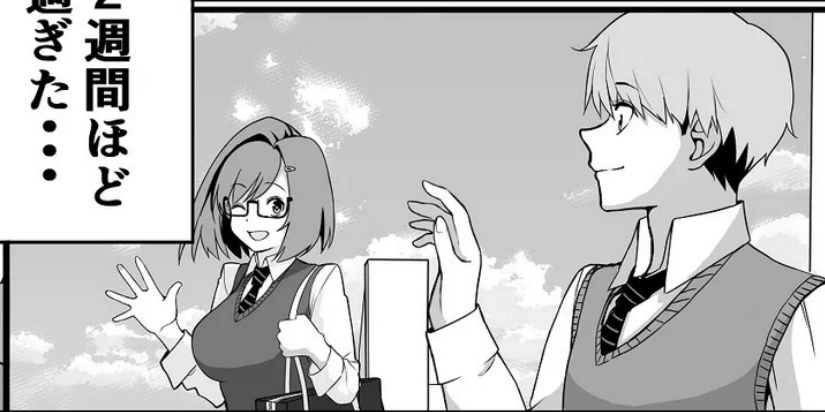




授業を終え
部活に行き
先輩と過ごす
そんな時間が



2週間ほど
過ぎた...



はーい
授業
終わり
ます



文化祭の準備
手伝わないと
いけないから
今日の部活は無し
でお願い!

分かりました
頑張ってください!



あ、はい

組生くーん!



既読
16:43

今日二人とも何時に帰ってくる??

16:43

今日は二人とも深夜帰りやな

16:43

ホッ



タタタタ

放課後

組生くん

白金さん
!?

今から
私の家で
勉強会しよ?

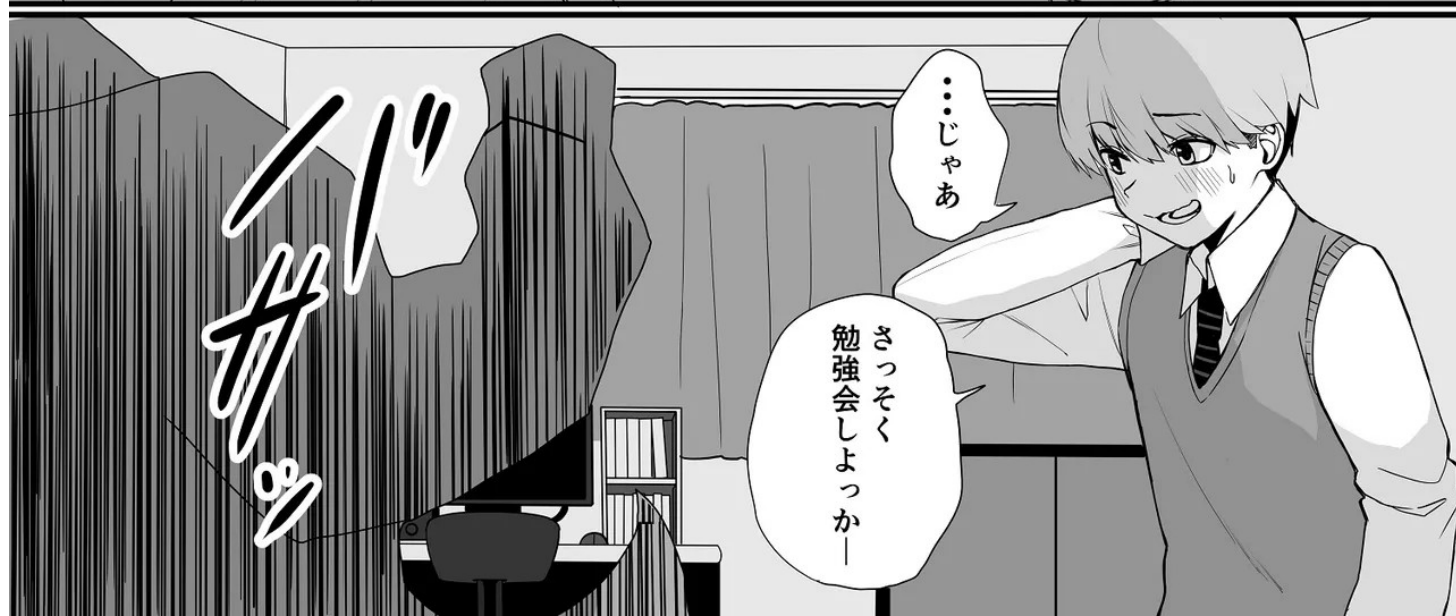
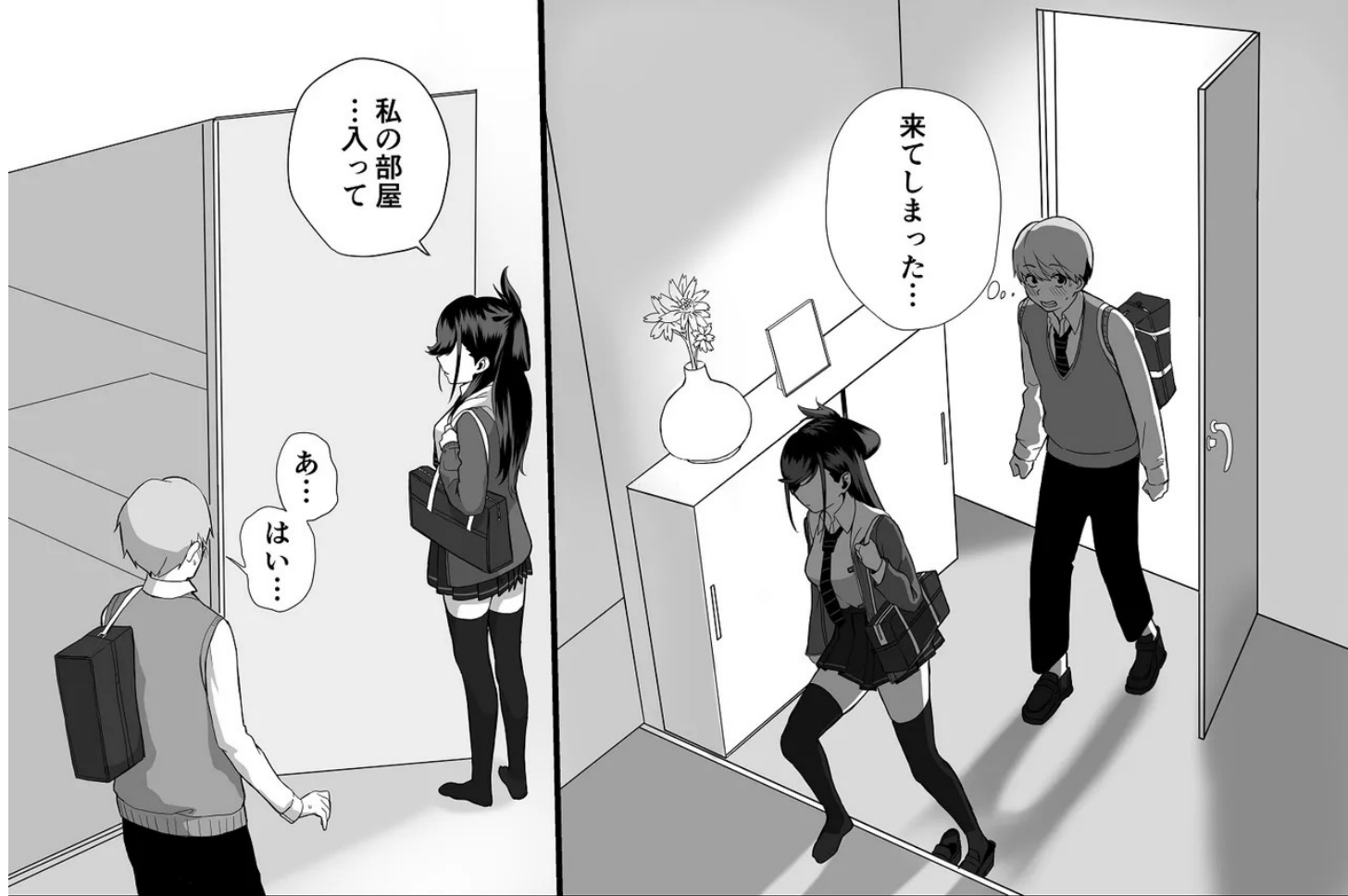
部活も
ないし

すぐ
家帰ろ

断ったら

えッ!?

だめ





そッ!?
そんな横暴な



でもまだ
恋人同士って
わけじゃなさ
そうだから
そうなる前に
私のものに
するの



組生くんと
2年の先輩
仲良いよね?



だッ...
ダメだって
こんなの!

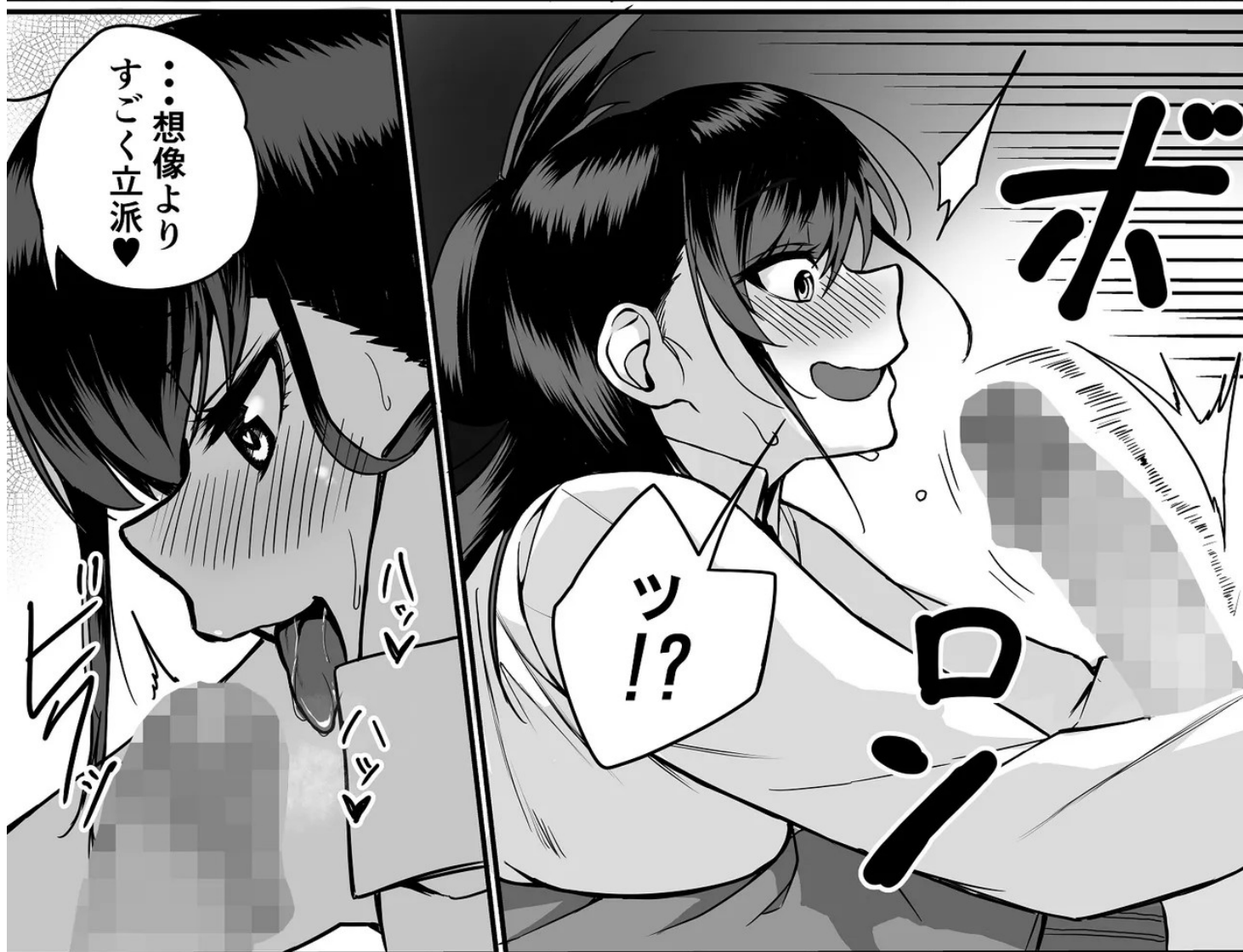
こういうことは
もっと段階を踏んで
からす

そんなの
良いからッ



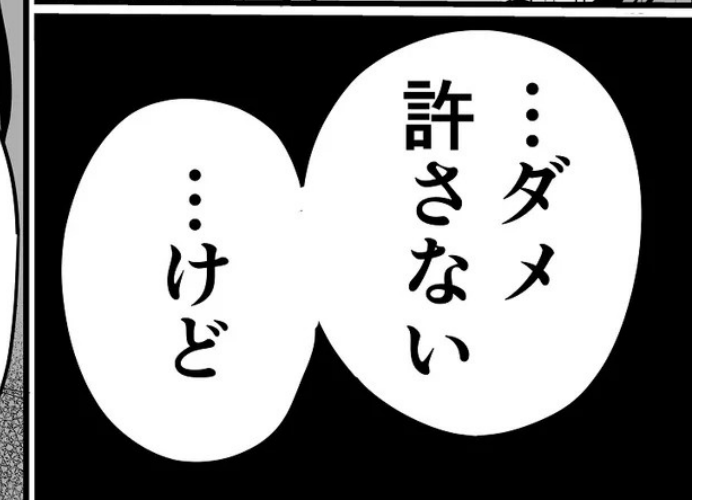
こっちはもう
やる気に
なってるんだから

気持ちいいこと
だけ考えなよ?









だから…
最初からそんな
つもりはッ…

は
イキそうに
なった？

でも
ダメ

先輩と関係を
持たないって
約束しないと
イかせてあげ
ないから

うっ!!

だから
ね？

しやせい
約束

しよ？



分かった！
約束する
から……ッ！！

もう中に
出ちゃ……
……ッ！！

いいから

中に
射精で♡



もっと♡
もっと欲しい♡

いまは……
ダメだ……



おなかに
熱いの……
入ってる♡

ダメこれえ
絶対……
クセになる♡



ギュウウウッ

アムッ

んっ
んっ
んっ

この味
好き♡

射精した後からは
理性も意識も
曖昧になり……

あは

は

あ

ギョ

グッ

グッ

夢中で白金に精液を
絞りだしていた
……いや、絞られて
いたと思う。

ああ

ああ!!

彼女の底なしの
性欲に触発され

限界なんて
無くなったように
セックスを続けた





組生くんは
私のこと
どう思ってた？

今さら聞くんだ
それ…



ねえ
聞いてもいい？

な、なにを？
あともう
ちんちん離して



ふーん…



可愛らしい人
だと思ってた
それに…

一人だった僕に
優しくしてくれたし
その…以前から
…好き…でした

!!



じゃあ
もう一回しょ！

もう3回
セックスした

ちょッ？
流石にもー

0時!?

0:12

じゃあ
気を付けて

絶対近所の人に
見られちゃ
だめだよ

確かに学生だから
やばいかもけど
……そんなに!?

近所のおじいさんが
ポケ始めててよく
犬に攻撃させるから

それは早く
なんとかしない!?

……じゃあ
また明日
おやすみ

勝人くん

……

お、おや
すみ……





